

# 札幌美香保中校区CSで札幌大谷大 放課後居場所づくりへ

## 新部活動設置検討、意見交換も

札幌市立美香保中学校区で構成するコミュニティ・スクール(CS)で、札幌大谷大学の学生が子どもの放課後の居場所づくりに向けた活動を進めている。地域学校協働活動「みかほっ子応援団」の一環として、新たな部活動の設置や放課後の居場所づくりを検討し、生徒と意見を交換する試みも始まった。年齢の近い大人たちの支援が、子どもが意見を言いやすい環境づくりを後押ししている。

みかほっ子応援団  
笑顔の華咲くPJ

行つた交流の幅を広げて  
活動プロジェクト」は、同  
3日に美香保中で行われ  
大の授業で総合的な学習の

時間の指導法を学ぶ学生の  
研究の一環。共働家庭の  
増加や公園利用の制約に  
場を設けた。  
生徒会役員の生徒は「美  
香保公園は近いが、中学生

率直に意見を  
交わす学生と  
生徒たち  
よって、放課後  
を安心して過  
せる場所が減  
っている現状を危  
惧し、生徒が「過  
ごしたい」と感  
じられる放課後  
の居場所二ツ  
をくみ取ろう  
と、意見交換の



率直に意見を交わす学生と生徒たち

「文化部があれば参加してみたい」などと率直に意見を述べる。学生からは、教室を活用した自主活動や、文化部の設置がない同校に美術や合唱、茶道など多様な文化活動の場づくりを提案。地域の力を生かして放課後の選択肢を増やす必要性を話し合った。  
札幌大谷大3年の宮崎涼子さんは「子どもたちが安心して過ごせる安全な場所を、地域の力をフル活用して提供できれば、保護者の信頼や教員の負担軽減にもつながる」と話す。今後は「気軽に参加できるボランティアを増やせば」と展望する。  
伊達校長は「子どもが多様な大人と対等な立場で、問題を解決していく経験は極めて重要。思いを届け合う場を今後も創出していきたい」と期待を寄せた。  
今後は、提案をもとに試験的に活動を始め、参加した子どもたちの感想をさらに調査。地域と子どもが一緒に育てる「放課後の居場所づくり」を本格化させる方針だ。

## 米国グラント高生が来札 交流の輪を広げよう

市立高など訪問 秋元市長表敬

米国ポートランド市グラント高校の生徒が札幌市立高校を訪問する交流事業が、6月29日から始まる。7月2日、市役所本庁舎で秋元

ホームステイを通して市民との交流や各校で授業体験などを行っている。  
グラント高からは毎年6月に、外国語学習を日本語に絞って学ぶ「日本語イマージョン教育」を受ける生徒が来札。翌年3月には市立高校8校から選抜された生徒がポートランド市を訪問する。  
ことしの派遣団には来札経験のある生徒3人が含まれている。小学校在籍時に札幌を訪れたというコーラ・ランフォードクリックさんは、表敬訪問で「研修は始まったばかりだが、ホストファミリーと過ごす時間はとても楽しい」と笑顔を見せた。タイ・モリオカさんは「市民の優しさや信頼を感じ、国際交流に対する思いを強くした。交流の歴史を守る責任を持ち、札

輪の広がりに期待を寄せた。  
秋元市長は「札幌に迎え入れることができうれしく思う。2週間という短い期間ではあるが、日本の生活や様々な人との交流を存分に楽しんでほしい」と交流の

## 適正な運用の徹底を 札幌市教委 業務量確保等

長期休業中の教職員在宅勤務

札幌市教委は6月中旬、長期休業期間中の教職員の在宅勤務について適正な運用を徹底するよう市立学校に対し、通知を発出した。多様な働き方が広がる中、勤務時間に見合った業務量の確保や、管理職への報告・相談の徹底を求めている。  
在宅勤務は、2年度に新

## 8月29日まで参加受付

札幌市教委 第2回CS連絡協

札幌市教委は、9月19日「札幌らしいコミュニティ・スクール(CS)」第2回連絡協議会を市生涯学習センターちえりあで開催する。市内の幼稚園、小・中学校などの管理職や学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員らが参加し、子どもの声や願いを学ぼう。参加申し込みはグループフォームで8月29日まで受け付ける。

## 貸事務所、貸店舗

第一、第二、第五道通ビル。札幌駅より徒歩三分。道庁に近。冷暖房、立休駐車場。地下に飲食店街があります。地下貸飲食店舗、一階貸店舗、三階以上貸事務所。委細面談。

## 道通ビル 入居者募集

お問い合わせは  
北海道通信ビル株式会社  
札幌市中央区北五条西六丁目  
電話(011)221-1311 一六番

http://dotsu-bldg.net

## 北海道通信

6月には同大の学生が美香保中を訪れ、野球部やサッカー部の技術指導や空き教室で「しゃべり場」を



米国のポートランド市グラント高校の生徒が札幌市立高校を訪問する交流事業が、6月29日から始まる。7月2日、市役所本庁舎で秋元市長を表敬訪問し、写真。日本でも過ぐる生活の楽しみや相互交流への意気込みを語った。  
交流事業は、ポートランド市教委の提案で平成24年度に開始。グラント高と市立高の生徒が互いの市を訪れ、2週間の

札幌市教委は6月中旬、長期休業期間中の教職員の在宅勤務について適正な運用を徹底するよう市立学校に対し、通知を発出した。多様な働き方が広がる中、勤務時間に見合った業務量の確保や、管理職への報告・相談の徹底を求めている。  
在宅勤務は、2年度に新

## 札幌市教委 市立校改築・大規模改修

札幌市教委は、市立学校の改築や大規模改修に向け、PFI/PPP(官民連携手法)の導入を含めた整備の在り方を検討する調査に着手する。教育環境の多様化や地域機能の複合化への期待が高まる中、老朽化や工事費の高騰といった課題にも直面しており、従来の分離発注方式にと

持管理の一元化によって、教職員が修繕調整に要する業務負担を約3割減らしたとされ。文部科学省の資料によると、香川県まんのう町では中学校の建て替えと図書館、体育館を一体整備し、従来4、5年かかる複合施設を約1年半で完成させた。調布市立調和小学校では授業外時間に体育館やプールを地域に開放し、市民の利用料を維持管理費の一部に充てるなど公共サービスの質向上を図った事例もある。

市内には約300の学校があり、このうち8割以上が築30年以上と老朽化が進む。市が令和6年度にまとめた維持更新計画では、10年度から45年度にかけて年間2、3校のペースで改築を進める方針を掲げている。

一方、PFI事業は担い手が限られる課題も指摘される。内閣府の令和3年度調査によると、地方公共団体が公表したPFI案件のうち約2割が応募ゼロや途中辞退で不調に終わっている。市教委も「参入可能な企業の範囲を把握する必要がある」と慎重な姿勢を示している。

調査は8月ごろから8年度末にかけて実施。持続可能な整備の実現に向け、包括的な整備方針策定へ検討を進める予定だ。

## PFI等導入含め検討 効率的で安定的な手法模索

一方、資材費や労務単価の

市立高など訪問 秋元市長表敬

調査は8月ごろから8年度末にかけて実施。持続可能な整備の実現に向け、包括的な整備方針策定へ検討を進める予定だ。